



## 新年も元気に過ごしてね！ 園児が手作り年賀状作る

**町**内3保育園の園児が、町内の73歳以上の一人暮らし高齢者に手作りの年賀状を送りました。これは、町交通安全推進協議会が、高齢者の交通安全と健康を呼びかけるため各保育園に協力いただき毎年実施しているものです。

このうち、ふたば保育園では、12月20日(火)に園児26人が2023年の干支の「卯」にちなんで、ウサギの似顔絵などを描いた年賀状を作成しました。年賀状には、「交通事故にあわずに元気で明るく過ごせますように」という園児のメッセージが込められています。町民みんなが気を付けて大石田町から交通事故をなくしましょう。



## 子どもたちが日ごろの成果を発表 青少年健全育成町民集会

**大**石田町青少年健全育成町民集会が、12月17日(土)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。これは、地域の子どもの健やかな成長を見守ろうと、町青少年育成町民会議が毎年開いているものです。

開会に先立ち、オープニングイベントとして南小の令和3年度4年生が制作した「大石田笑顔満開プロジェクト」の上映や、大石田中学校1年生の総合的な学習成果発表「大石田の魅力発信！」などが披露され、来場者からは大きな拍手が送られていました。



また、集会では、いじめ防止標語優秀作品の表彰と、町内の児童が家族への感謝の気持ちをテーマに書いたエッセイの優秀作品の発表と表彰が行われ、児童から優秀作品が披露されると会場からはあたたかい拍手が送られていました。

また、集会では、いじめ防止標語優秀作品の表彰と、町内の児童が家族への感謝の気持ちをテーマに書いたエッセイの優秀作品の発表と表彰が行われ、児童から優秀作品が披露されると会場からはあたたかい拍手が送られていました。



## うんまい自然薯 ぜひ食べて

**児**童による自然薯の販売会が、12月19日(月)、20日(火)にあつたまりランド深堀で行われました。これは、地域学校協働本部が実施するサンスタディで自然薯の定植と収穫を体験した町内の6年生児童が行ったものです。販売会にあたって、児童たちは大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)のメンバーに協力してもらい、おすすめの食べ方などを事前に勉強して販売会に臨みました。

販売会が始まると自然薯を買い求める来場者が次々と訪れ、用意した自然薯はあっという間に売り切れになっていました。

参加した今野綾翔さん(北小)は「今日のために自然薯のレシピを調べました。おいしく食べてもらいたいです」と話していました。



## おせちで元気で明るい正月を

**食**生活改善推進員連絡協議会(長沢依子会長)のメンバーによるおせち料理作りが、12月28日(水)に虹のプラザ「調理室」で行われました。これは町内の高齢者に、昔ながらの手作りおせち料理を食べてもらい、元気で明るい正月となるよう毎年実施しているものです。

配送には社会福祉協議会の配達ボランティアが協力し、おせち料理と初あめが高齢者の元へ届けられました。

おせちを受け取った80代の男性は、「すごく美味しそうです。普段は飲みませんが、お酒と一緒に楽しみたいです」と話していました。



## サンタさんがやってきた！ 商工会青年部が園児にお菓子手渡す

**商**工工会青年部(芦野雅俊部長)による保育園児へのお菓子のプレゼントが12月20日(火)に町内の3か所の保育園で行われました。そのうち、大石田保育園ではサンタクロース姿に扮した部員2人が園児にお菓子を手渡しました。お菓子を受け取った園児は「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言うと、プレゼントを嬉しそうに抱えていました。

芦野部長は、「子どもたちは町の宝です。これからも活動を通して子どもに笑顔を届けたいです。町が元気になるきっかけになれば嬉しいです」と話していました。



## サンタさんから素敵なプレゼント

**ク**リスマスイブの12月24日(土)に福祉ボランティア「いこいの会」(小玉勇会長)のメンバーによる一人暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布が行われました。会では一人暮らしの方にもクリスマス気分を味わってもらおうと毎年この時期に贈り物をしており、やまがた緑環境税の交付金を活用した手作り小物入れ(県産スギ材使用)のほか、今年は手芸品の売上金で購入した特別ケーキやお菓子など豪華なプレゼントを配りました。

メンバーはサンタクロース姿に扮して、町内の64軒をまわり、声をかけながらプレゼントを手渡していました。